

大学での学びは、まず大学を学ぶことから

井原 辰彦 (化学生命工学科)



#1: 原田淳「理系大学生生活ハンドブック」化学同人



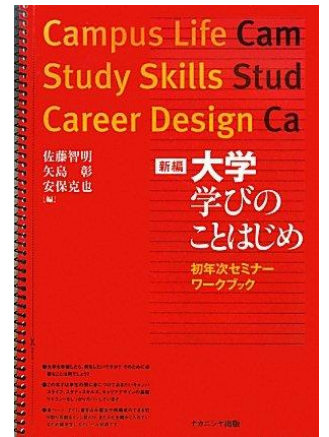
#2: 井出弘人他「理系学部合格したら読む本」化学同人



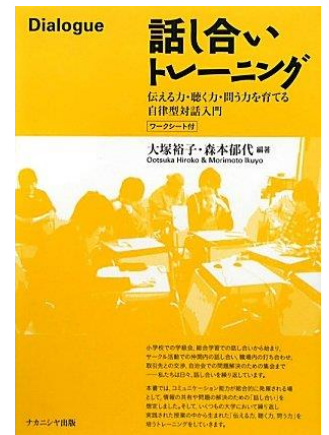
#3: 西澤幹雄「はじめての研究生生活マニュアル」化学同人

大学生活の4年間はあっという間です。学生時代に「あれをしておけばよかった」とか、「こうしておけばよかった」と悔いを残さないために、特に新入生の皆さんは、まず大学を学ぶことから始めましょう。近畿大学工学部での学びにとらわれず、そもそも大学とはどんなところかをじっくり学び、大切な4年間を送りましょう。それには、他大学の教員が書かれた大学紹介本や支援ガイドに目を通すことが近道だと思います。理系学生用に書かれた#1～#3と文系理系問わず共通して書かれた#4を紹介させていただきます。高校と大学の授業の違い、高校の先生と大学の先生の違い、授業の受け方と単位のしくみ、試験制度、オフィスアワー、研究室訪問のマナー、シラバス、セメスター制とクォーター制、理系学部ではパソコンが不可欠なこと、研究室・卒研・卒論のこと、アルバイト・クラブ・サークルのこと、社会意識、履歴書の書き方など、知っておくべき情報が満載です。全容を知ることによってこれらがどのように社会人への一歩につながっていくのかを理解することができるでしょう。

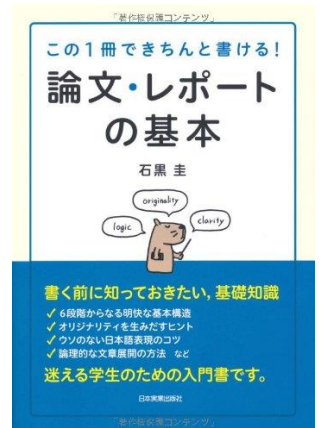
大学時代に磨いて頂きたいスキルは沢山ありますが、私はコミュニケーションスキルと文章表現力の2つを挙げさせていただきます。これらはどちらかと言うと皆さんが苦手とするスキルですが、実社会では非常に重要なスキルなのです。#5と#6が代表的な書籍です。特に文章表現に関する書籍は山ほどありますので、それだけでも重要だということがわかると思います。これらは「あれをしておけばよかった」の後悔に繋がるスキルだと思います。



#4: 佐藤智明他「Campus Life Study Skills Career Design: 大学学びのことはじめ」



#5: 大塚裕子他編「話し合いトレーニング」ナカニシヤ出版



#6: 石黒圭「論文・レポートの基本」日本実業出版社